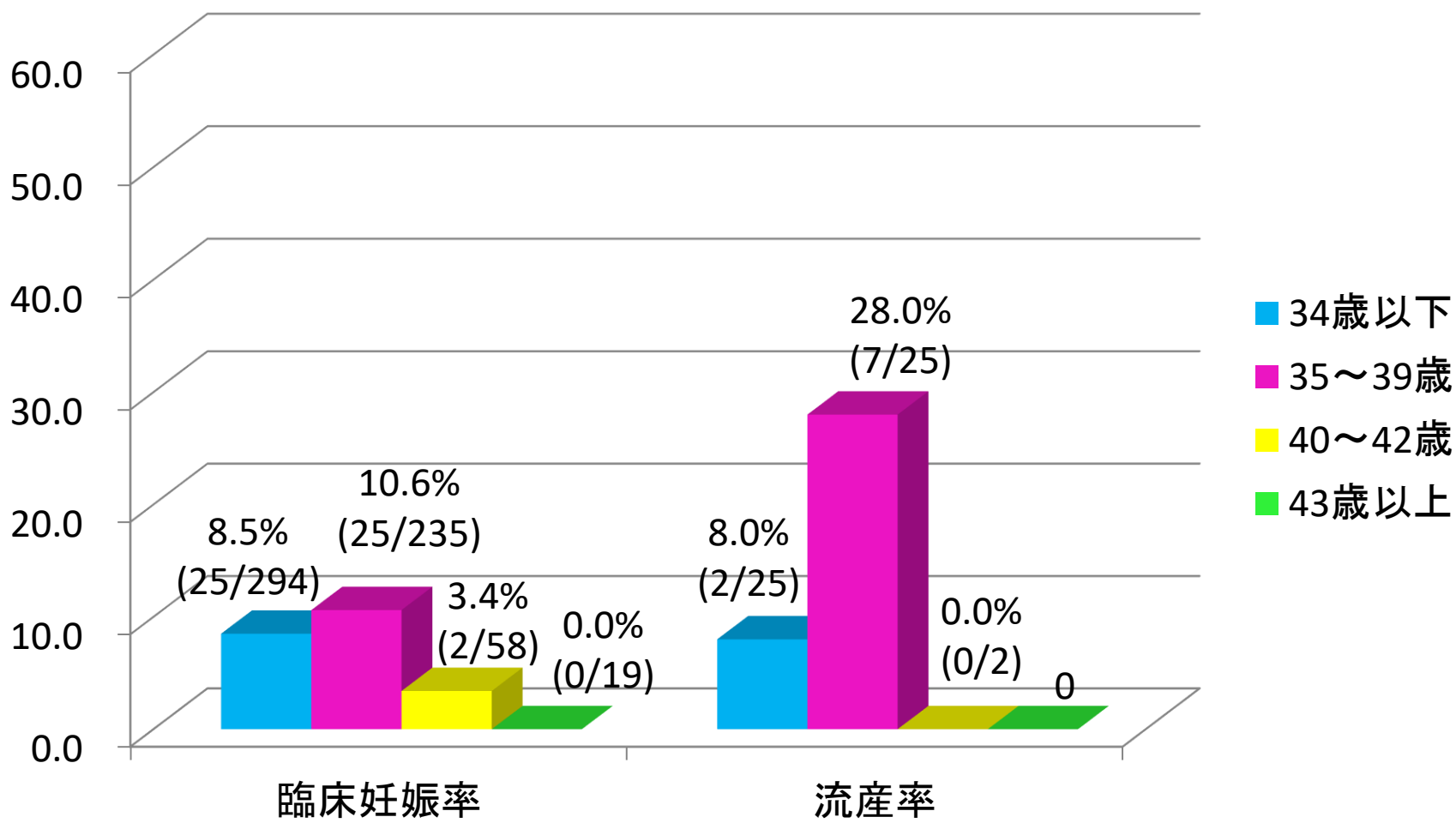
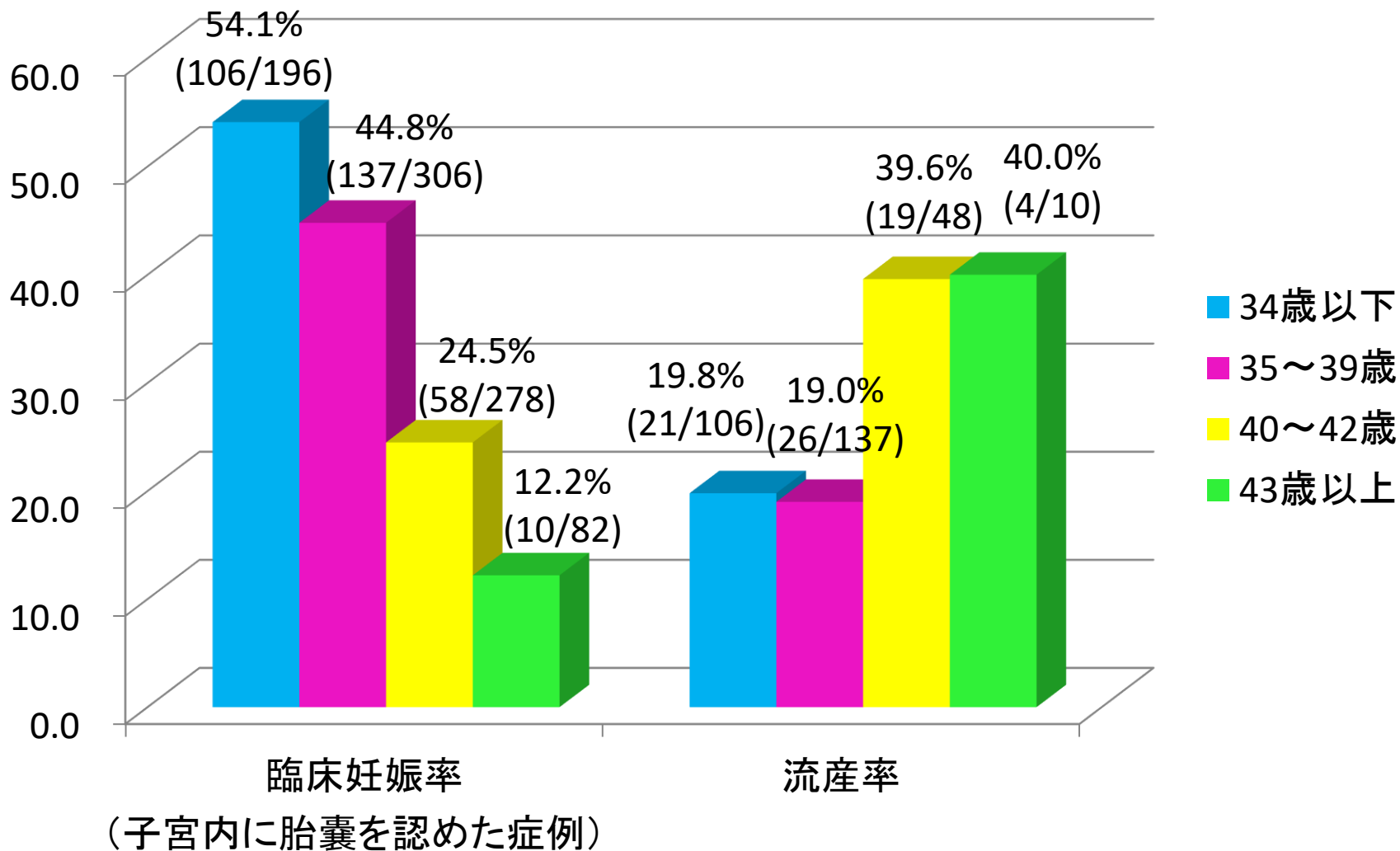


2019年の人工授精における 年齢別妊娠率および流産率

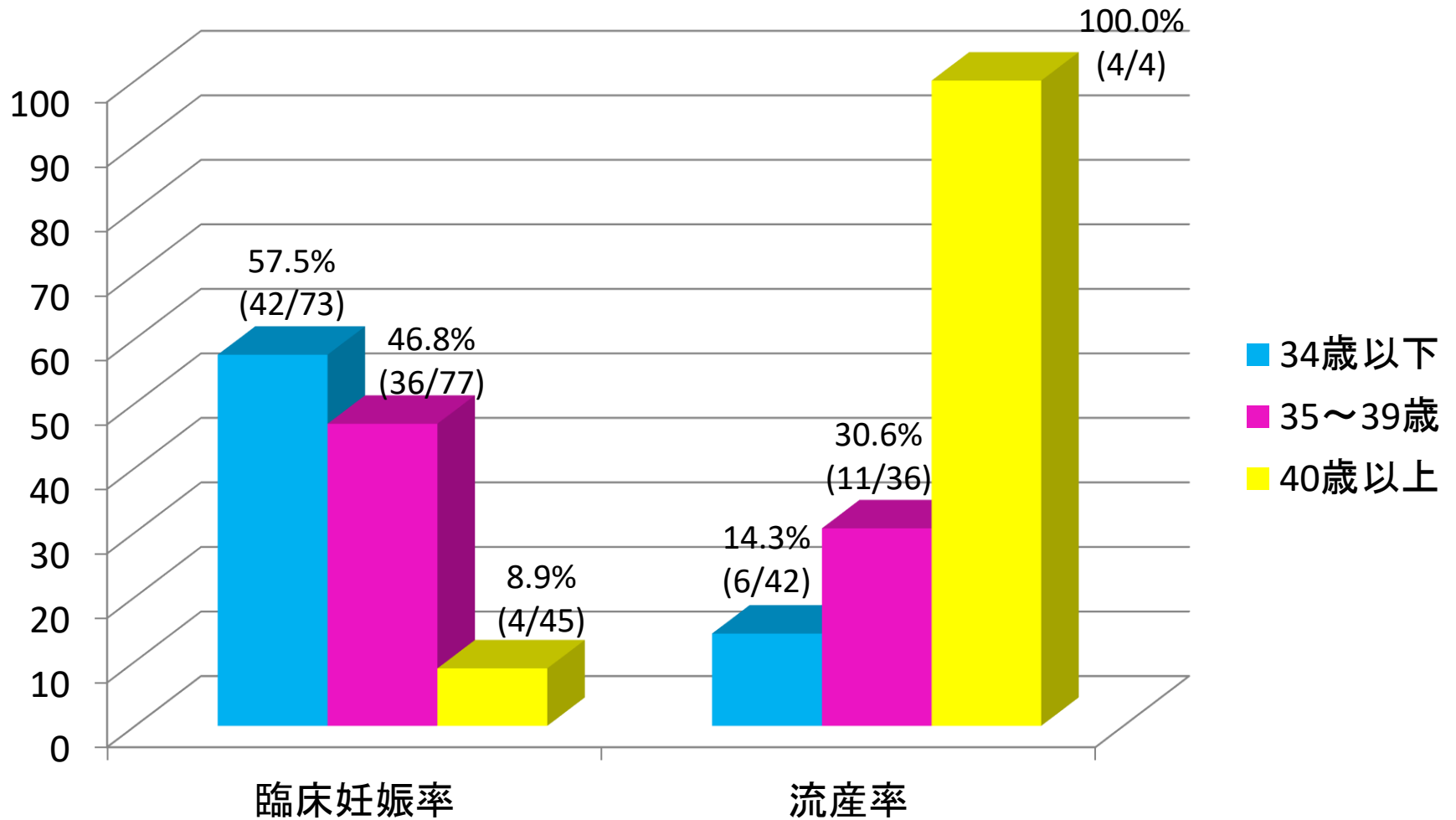


(子宮内に胎嚢を認めた症例)

2019年の体外受精における 年齢別妊娠率および流産率

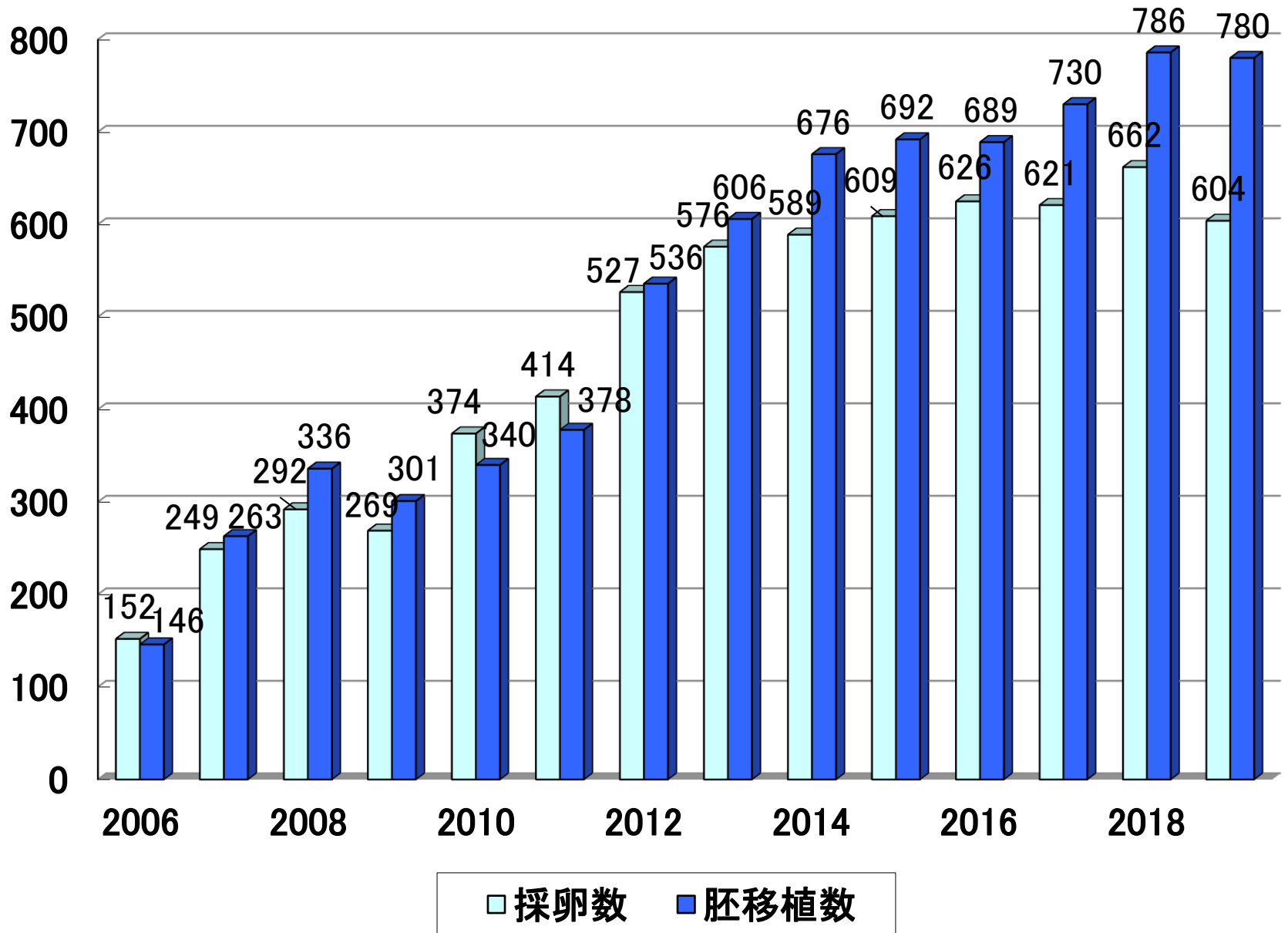


2019年の胚移植初回症例における 年齢別妊娠率および流産率



採卵数と胚移植数の年次推移

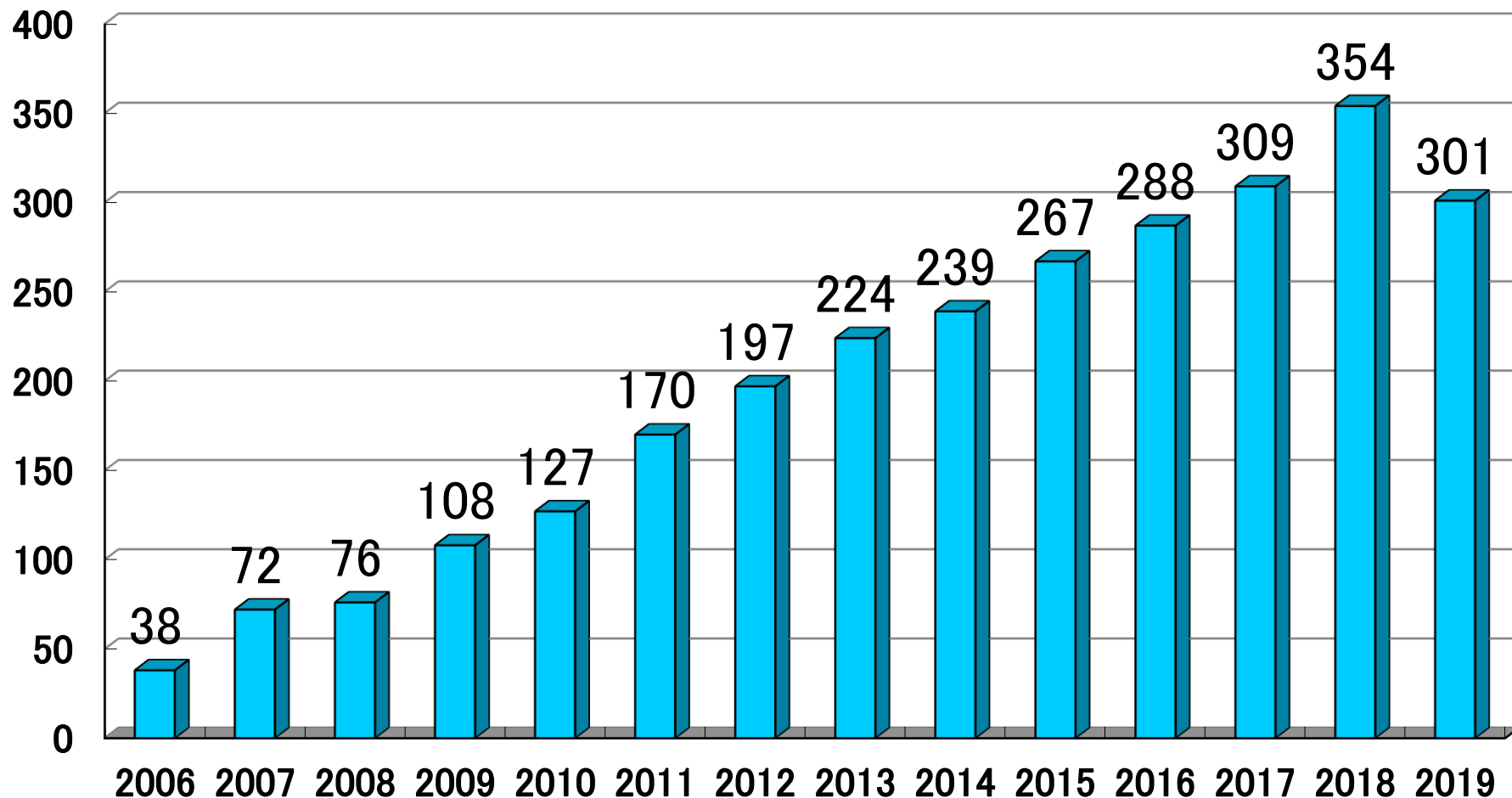
2019年は採卵数が604例、胚移植数が780例でした。



体外受精における年別、臨床妊娠数

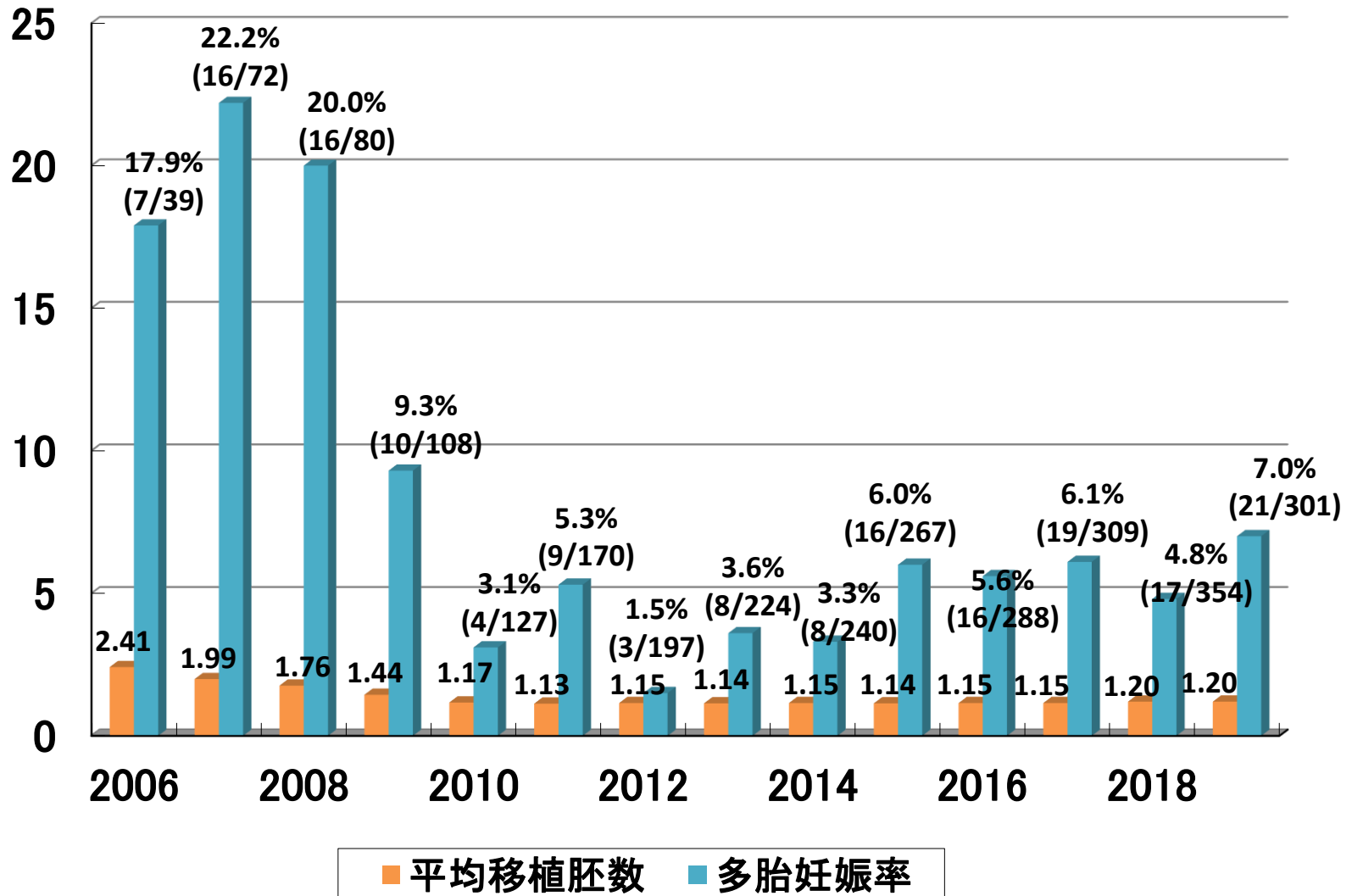
年間臨床妊娠数は2019年は301名に達しました。

(臨床妊娠数は、超音波検査にて子宮内に胎嚢を確認した症例です。)



平均移植胚数と妊娠当りの多胎妊娠率の年次推移

平均移植胚数は毎年減少しておりましたが、2010年からは横ばいとなっています。多胎妊娠率も、低値を維持しています。



2019年 ART治療成績

- ・採卵数:604周期(初回症例:256周期)
 - 体外受精...247周期・顕微授精...265周期
 - 体外受精+顕微授精...52周期
- ・胚移植:780周期
 - (新鮮胚移植 116周期、凍結胚移植 664周期)
 - 平均移植個数 1.20 ± 0.40 個
 - 平均年齢(胚移植あたり) 37.0 ± 4.3 歳
- ・妊娠反応陽性率:52.2%(妊娠反応陽性数 407例)
- ・妊娠:301周期(妊娠率:38.6%)
 - (34歳以下 54.1%、35~39歳 44.8%、
40~42歳 24.5%、43歳以上 12.2%)
- ・多胎妊娠率:7.0%(多胎妊娠数 21例)
- ・流産率:23.3%(流産数 70例)

- ・タイミング療法:妊娠数 66例
- ・人工授精:症例数 606周期 妊娠率:8.6%(52例)